

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	水道整備課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2741
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)水道配水管網整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水道施設整備事業計画（平成23年～平成42年）に基づき、配水管未整備路線への配水管の整備や老朽配水管の更新を行うとともに、震災等の非常時に備えたバイパス管の整備、合併町間との相互連絡管の布設や未給水地区の解消等の配水管整備を効率的、効果的に実施する。延長7,400m 相互連絡管の布設 旧市～合併町及び合併町間12路線を整備、総延長9,950m、目標年度30年度 未給水地区の整備 21年度以降の計画延長				
	29年度概要	配水管布設工事 うち ・給水管 ・連絡管	口径75～800mm 2,520m 口径75mm 160m 口径75mm 400m	配水管布設工事 口径50～800mm 13,040m	配水管布設(単独工事)出水不良解消、下水関連、移設等 1,168m
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	未給水地区、幹線道路などの配水管未整備路線、各合併町との連絡路線、優先順位の高い老朽管路線、出水不良地区及び下水道整備路線。
意図(どのような状態にしたいか)	配水管未整備路線の解消、経年管の老朽化等による漏水事故対策、出水不良地区等を解消するとともに、震災、湧水等の非常時に備えるため配水管の耐震化を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
毎年度の布設・布設替延長	m			14,167	14,687	13,647

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
総布設・布設替延長(水道配水管)	m	目標値			2,179,981	2,186,181	2,191,931
		実績値			2,183,241		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	2500000						(達成度) 100.1%
水道施設整備事業計画に基づき概ね達成できている。	(目標達成度)						35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,650,793	1,554,202	2,131,392	2,588,214
(事業費)	[円]	1,414,483	1,302,699	1,883,330	2,340,152
(職員人件費)	[円]	236,310	251,503	248,062	248,062

【評価】

評価ランク(A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
------------	----------	------------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

老朽配水管の更新による耐震化率の向上を目指すとともに、財政面との整合性を図りながら、効率性・経済性に考慮して、優先順位の高いものから計画的に行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

より安定性の高い管路網の整備を実現するため、水道施設整備事業計画に基づき、管路管理システムを利用した、配水管網の再評価を行い、効率性・経済性を考慮して優先順位が高いものから推進する。